

学 校 通 信



第8号

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/shira-j/>

鈴鹿市立白鳥中学校

*白鳥中学校ホームページで、学校生活の様子やこの通信のカラー版を見ることができます。

全国学力・学習状況調査の結果について

本年4月18日に、中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、本校生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組について以下のようにまとめました。しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定部分の一部であり、学校の教育活動の一側面です。このことを十分に考慮しながら、この分析結果や今後の取組を家庭・地域の皆さんと共有し、学校・家庭・地域が一体となった取組にしていきたいと考えています。

《本校における教科に関する調査結果の分析》

☆国語科☆

【強み】

- ・自分の伝えたい内容に応じて言葉を選んだり、文章の構成を検討したりしながら、考えをまとめることができます。
- ・相手の立場に立って、話したり聞いたりしようとしています。



【弱み】

- ・資料から目的に応じて適切な情報を取り出すことや、どんな情報が必要なのか問われている内容を整理することに課題があります。

【今後の手立てについて】

- ・文章と図表を結び付けて必要な情報を見つけ出し、自分の考えをまとめたり、説明したりする活動に取り組んでいきます。
- ・複数の条件や場に応じて言葉を使い分けたり、表現を工夫したり、情報を取り出したり、整理したりする場面を増やしていきます。

☆数学科☆

【強み】

- ・情報を分類したり整理したりすることや累積度数の意味を理解すること、ヒストグラムや度数分布表を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取ったり、批判的に考察し判断したりすることができます。

【弱み】

- ・図形の基本は理解しているものの、証明を振り返って情報を整理し、数学用語を用いて説明することに課題があります。



【今後の手立てについて】

- ・計算方法や解き方など、繰り返し問題に取り組み、数学の基礎的な力が定着するように促していきます。そのうえで、方法や手順を的確に記述したり伝え合ったりする活動に取り組んでいきます。
- ・「図形」に関しては、説明すべき事柄について、根拠と成り立つ事柄の両方を示して、理由を説明する活動に取り組んでいきます。

☆英語科☆

【強み】

- ・語彙や文法, 言語の動きなど, これまでの学習の知識を活用し, 情報を正確に読み取ることができています。
- ・「聞くこと」において, 日常的な話題について, 必要な情報を聞き取ることができており, 目的や場面に応じて何が必要な情報であるかを判断できています。

【弱み】

- ・概要を読み取るために必要となる文と文との関係を正確に読み取ることに課題があります。

【今後の手立てについて】

- ・日常的な話題をテーマにした短い文の読み取りを通じて, 目的や場面, 状況に応じて必要な情報を読み取る活動に取り組んでいきます
- ・正しい語順で文を作成したり, 適切な表現を使って書いたりする活動に取り組んでいきます。



《 白鳥中学校での授業の工夫 》

本校では、研修主題を「互いに支え合い、ともに高め合い、活動できる生徒の育成」と設定し、「授業の中でどのような姿が見られたらいいのか」、「どのような場面で、どのような姿を期待するのか」等について、各教科で目指す子どもの姿を設定しています。そして、その目指す子どもの姿の実現に向け、「『めあて』の提示」、「一人一台端末の活用」、「ふり返し活動の充実」を、授業づくりの共通のイメージとし、「わかる授業」「伝える授業」の実践に取り組んでいます。

「めあて」の提示

学習に見通しを持ち主体的に学習に取り組む生徒の育成をねらいとしています。

一人一台端末の活用

他者の考えに触れる活動を授業で取り入れ、関わり合い、互いの考えを受け入れたり自分の考えと比較したりしながら、高め合える生徒の育成をねらいとしています。

特に、ICT 端末(chromebook)を積極的に活用して、協働的な学びの場を設定していきます。

ふり返し活動の充実

学習したことを自分化したり、何がわかるようになったのかを生徒自身が整理したりすることをねらいとしています。